

## 令和2年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	6.7	10	12	3	5
鴨川	新大宮バイパス線下	10	5.5	7.7	19	3	9
	加茂川橋	10	5.3	7.5	45	4	16
	藤橋	11	4.5	8.8	24	6	14
	中土手橋	12	5.6	7.8	65	5	25
	さくら草橋	11	5	7.7	21	3	11
鴻沼川	櫛引橋	10	3.2	6.3	19	3	11
	霧敷橋	15	8.6	13	24	1	4
	新開橋	12	6.5	9.0	28	4	11
笹目川	市立浦和南高校脇	9.6	3.9	6.8	14	2	5
藤右衛門川	柳橋	9	5.7	7.1	14	3	7
芝川	船橋	9.6	5.6	7.5	17	3	6
	境橋	12	5.4	8.1	25	3	11
	大道橋	10	5	7.4	32	4	15
	八丁橋	15	4.5	7.7	41	5	18
深作川	宮ヶ谷塔橋	11	5.5	7.9	27	9	18
綾瀬川	高野橋	11	5.1	8.0	57	6	18
	戸井橋	11	5.5	8.4	55	7	21
	暁橋	12	5.9	8.9	81	4	22
元荒川	城北大橋	10	5.9	8.0	18	3	11
	新曲輪橋	11	5.2	8.1	18	3	10
	永代橋	11	6.8	9.2	19	3	11
古隅田川	城殿宮橋	8.9	4.1	6.5	26	10	19

※船橋(1,2月)は工事の関係で欠測となりました。

### 【用語説明】

**DO(溶存酸素)**: 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

**SS(浮遊物質)**: 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。